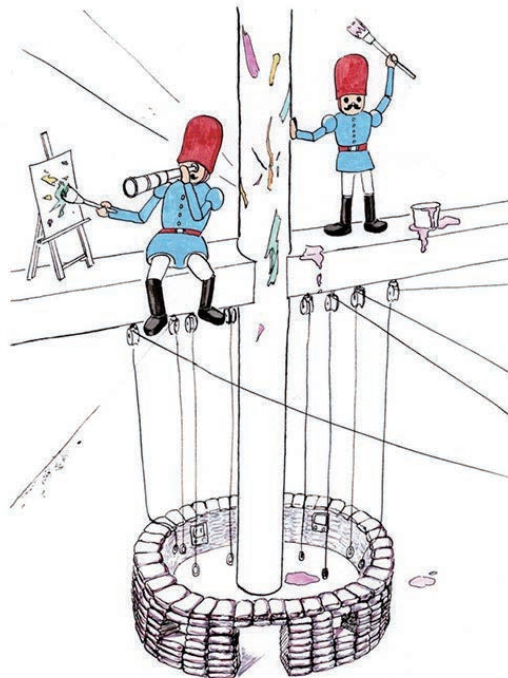


第5回市原湖畔美術館子ども絵画展

会期	2018年2月24日[土]-2018年3月11日[日]		
開館時間	10:00-17:00(土日祝は延長あり・入場は閉館の30分前まで)		
休館日	月曜日(祝日の場合、翌日)		
料金	一般:400円(300円)、65歳以上の方・大高生300円(200円)、中学生以下・ 障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。()内は20名以上の団体料金。		
主催	市原湖畔美術館[指定管理者:(株)アートフロントギャラリー]、市原市		
会場構成	KOSUGE 1-16		
協賛	中川ケミカル株式会社	協力	小湊鉄道株式会社
後援	一般社団法人市原市観光協会、高滝湖観光企業組合、市原ぞうの国、千葉日报社、シティライフ株式会社、三陽メディア株式会社、南いちほら応援団新聞伝心柱		



展覧会について

「普通じゃない」子ども絵画展

市原湖畔美術館では2013年のリニューアルオープン以来、年に1度市原市内の幼稚園、小学校から絵を公募し、「市原湖畔美術館子ども絵画展」を開催してきました。いずれも、デザイナーやアーティストに会場構成を依頼し、単に絵を並べるだけでなく、空間全体が子どもたちの遊び場になるような空間を作ってきています。(2013年度 assistant、2015年度安西一憲、2016年度伊藤史子、2017年度原倫太郎+原游)

第5回目を迎える本展では、当館のパーマネントワークの作家でもあるKOSUGE1-16が会場構成を担当し、集まった約6000枚の絵の中から入選作約300点を展示します。

会場構成について

トイソルジャーが迫り来る常識から子どもの表現を守ります

当館の常設作品である「Toy Soldier」は、リニューアルオープン以来、湖畔美術館を守ってきたつもりです。来る2月、子どもたちの自由な表現を大人たちの常識を守るために、仲間を引き連れ立ち上がります！展示室内には、トイソルジャーがお絵かきをした痕跡が残り、子供達が動かして遊べるパペット人形のトイソルジャーが待っています。



KOSUGE 1-16 について

土谷享と車田智志乃による美術家ユニット(2001年～)。アートが身近な場所で生活を豊かにしていく存在となることを目的に、参加型の作品を通して、参加者同士あるいは作品と参加者の間に「もちつもたれつ」という関係をつくりだす活動を行っている。第11回岡本太郎現代芸術賞展「岡本太郎賞受賞(2007年)。

関連イベントについて

トイソルジャーのプッシュトイをつくろう

トイソルジャーのかたちをした、木製のおもちゃをつくるワークショップを開催！おもちゃの底の部分を押すと、トイソルジャーがくねっと動きます。

日時：2月24日(土) 10:30～12:30

3月3日(日) 10:30～12:30

13:30～15:30

*2/24の回のみKOSUGE1-16が講師をつとめます

料金：1000円/人

定員：20名(事前申し込み制)



アクセス

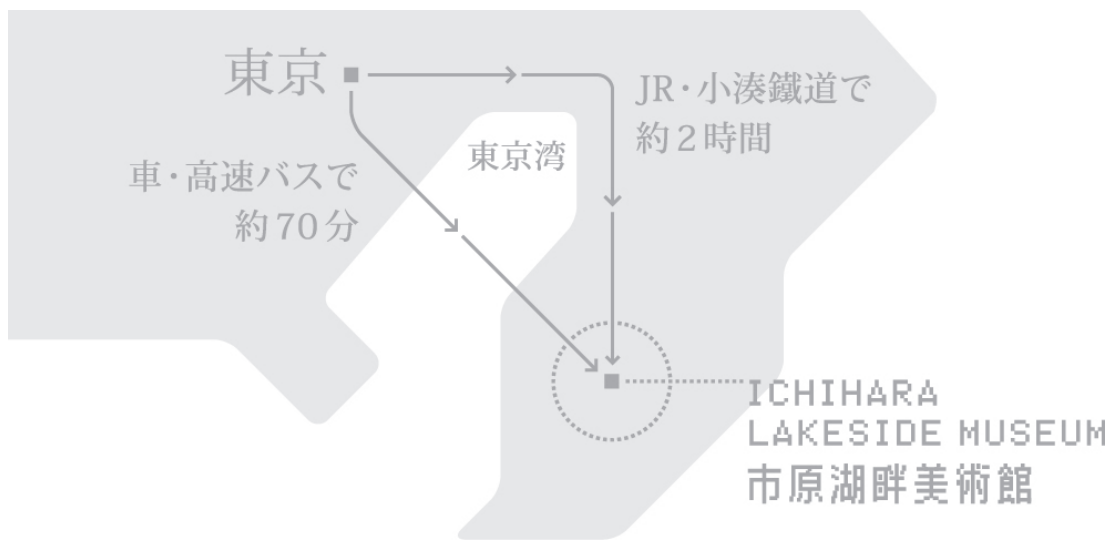
所在地：〒290-0554 千葉県市原市不入75-1

鉄道で：JR 内房線五井駅乗り換え 小湊鉄道「高滝」駅より徒歩20分 / レンタサイクル10分 / タクシー5分

お車で：圏央道「市原鶴舞IC」より約5分

高速バスで：東京駅・羽田空港・横浜駅より約1時間

(市原鶴舞バスターミナルよりタクシー 約5分)



広報についてのお問い合わせ

市原湖畔美術館 担当：渡辺

tel: 0436-98-1525 fax:0436-98-1521

press@lsm-ichihara.jp www.lsm-ichihara.jp

